

【長期留学プログラム全般について】

Q. どの時期にキャンパス・アジアの長期留学の募集があるのですか。

A. 一年間に2回あり、3月と9月頃を予定しています。

Q. どの学部の学生もキャンパス・アジアの長期留学に参加できますか。

A. 出願要件を満たす限り、どの学部の学生も参加可能です。

Q. 留学プログラムで使用する言語は何ですか。

A. 原則、英語です。ただし、北京大学ダブルディグリー・プログラムは、主に中国語で実施され、英語もあわせて必要になります。

2017年秋募集時の要件は、以下です。

英語：原則として、TOEFL iBT 80以上（IELTS 6.0以上）（若干満たない場合も、出願可能とする。他の要素とともに総合的に選考を行うため。また、TOEIC(730点以上)での出願も可とするが、審査は現地大学によるため注意）

中国語：北京大学 DDP 希望者については、英語に加え中国語検定試験 HSK5 級以上（180点以上）

（※TOEFL/IELTS、HSKの有効期限は2年間ですので注意してください。）

募集要項にて最新の情報を確認してください。

Q. 留学プログラムに出願する際に、国籍の要件はありますか。

A. 受入大学の制約により、以下のような状況です。

プログラム	北京大学への留学	高麗大学校への留学
ダブルディグリー・プログラム	中国国籍（台湾、香港、マカオ含む）保持者は応募不可	韓国国籍保持者は応募不可
副専攻プログラム	制限なし	制限なし
インテンシブ・プログラム	制限なし	制限なし

Q. 国際教養学部生ですが、キャンパス・アジアの留学で卒業要件として認められますか。

A. 国際教養学部（SP1 学生）の卒業要件として必須である海外留学の条件は、以下のプログラムの場合に満たされません。

①ダブルディグリー・プログラム

②副専攻プログラム（ただし、2か国の留学を連続で行う場合に限る。また、早稲田・北京・高麗で開講するキャンパス・アジア指定科目を12単位以上取得することも必要となる。）

③インテンシブ・プログラム（ただし、1年間の留学の場合に限る。）

なお、国際教養学部の学生が留学を修了した直後の学期末にそのまま卒業することは原則としてできません。

Q. 奨学金などの金銭的な支援はありますか。

A. 要件を満たす場合、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を支給します。加えて、政府補助金により往復の航空券を支給します。ただし、これらは財政状況によりますので、確約されているものではありません。詳細は、募集要項等で案内します。

【DDについて】

Q. キャンパス・アジアのダブルディグリー・プログラムとはどのようなプログラムですか？

A. 北京大学に1年間、もしくは高麗大学校に1.5年間留学し、所定の条件を満たすことで留学先大学の学位が取得できるプログラムです。北京大学では中国語と英語、高麗大学校では英語で授業を受けます。北京大学では国際関係学院に、高麗大学校では政経大学（の政治外交学科、経済学科、統計学科、行政学科いずれか）に所属します。

Q. 学位を取得するための「所定の条件」とは何ですか？

A. 北京大学では1年間で指定された必修科目と選択必修科目を履修し48単位を取得する必要があります。高麗大学校では1.5年間で所属する学科で指定された科目群から科目を選択し、67単位を取得する必要があります。（年度により開講する科目が異なるため、カリキュラム等が一部変更となる場合があります）

Q. ダブルディグリー・プログラムで授与される学位は何ですか？

A. 北京大学では「法学学士学位 (Bachelor of Laws)」が授与されます。高麗大学校では所属する学科により「Bachelor of Arts in Political Science」「Bachelor of Arts in Economics」「Bachelor of Arts in Statistics」「Bachelor of Arts in Public Administration」のいずれかが授与されます。

【科目について】

Q. 夏季・春季集中講座とは何ですか？

A. 夏季休業期間、春季休業期間に実施される留学センター設置科目「CAMPUS Asia Intensive Program」（旧名称：Joint Intensive Program）のことです。キャンパス・アジアのプログラムを修了するためにはいずれかの履修が必要になります。本科目ではフィールドトリップを実施する場合があります。（授業実施期間等、詳細はシラバスを参照してください）

Q. 「キャンパス・アジア科目」と「キャンパス・アジア関連科目」の違いは何ですか？

A. 「キャンパス・アジア科目」は留学センターで設置している、全学オープンな科目になります。「キャンパス・アジア関連科目」はより深い学びを希望する学生のために各学部から提供された科目群です。「キャンパス・アジア関連科目」もキャンパス・アジアの修了要件単位数に含めることができます。（ただし、履修ルールは通常の科目登録に準ずるため、優先的な登録等はなく、所属学部によっては履修ができない場合があります）

Q. 北京大学、高麗大学校で開講されているキャンパス・アジア科目は何ですか？

A. 以下留学センターホームページをご覧ください。

（指定科目は、北京大学、高麗大学校の事情により変更となる場合があります）

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/12781> (日本語)

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news-en/12784> (English)